

山崎哲郎氏) 橋南は7月第2、3週の辺りで行っている。

(Q 意見

針間道夫氏) 村の河川一斉清掃が7月末にあり、その前の週が橋北(公民館)の作業を行う日になる。

(Q 意見

池端清二氏) せっかく自治振興センター～ヘリポートまでの左岸側をきれいにしたのだから、以前のように草が生えないように草刈りをうまくやっていく必要がある。今まではばらばらにやっていたが、皆で協力して一緒にやらないとダメである。
なんとかそれを調整できないか?日程だけでも合わせられないか?県に言っても難しいのでは?

(Q 意見

山崎哲郎氏) 去年の草刈り時期(7月14日)位の時期にやればよいのでは?
いい川づくりが中心になって橋北、橋南関係なく皆で実施すればよいのではないか?

(Q 意見

池端清二氏) 誰が主体となって実施するのか?リーダーがいらない。

(Q 意見

針間道夫氏) それは推進会議でやらなきゃしょうがないのでは?

(Q 意見

山崎哲郎氏) 会長の挨拶でもあったが、「きれいな川」ということがキーワードであったので、このいい川づくりを母体として作業をまとめてもらったらどうか?

(Q 意見

針間道夫氏) 去年の作業をみると1年に何回も草刈り作業をしなければ維持できない状況である。

(Q 意見

山崎哲郎氏) 先ほどの資料で調整会議という話があったので、まずは調整会議を実施して、日程等を調整するところがスタートではないか?

(Q 意見

池端清二氏) 役所ばかりにおんぶではなくて、地域の中でできないのか?

(Q 意見

山崎哲郎氏) おんぶではなく皆でやる。推進会議という母体があり、後は構成員というだけである。

(A 鈴木課長)

私どもからはこうして下さいということは言えない。今聞いている限りでは、それぞれ地域の事情があって、なかなかまとまらない状況である。各地区がいつ、どこをやるのか情報を出していただき、町づくり委員会の機会に出していただき、次回の推進会議で確認し、合わせるところは合わせるという形でできればと思う。

(Q 意見

針間道夫氏) 愛護団体に登録している団体はたくさんある。それぞれの事情があり、個々でやるにしても、話し合いをする場面はあってもよいと思う。

(Q 意見

池端清二氏) じゃあ誰が音頭をとるのか?

(A 木下補佐)

調整会議の段取りは、私どもが事務局であるので皆様と相談していきたいと思う。各個人でいろいろな立場があるので、各区长さんに相談するか、センターを窓口として関係者は誰なのかということをお聞かせいただくなかで、事務局で日程をつめて皆様へ案内をしたいと思う。

(Q 意見

山崎哲郎氏) 今の述べた方法でよいと思う。

(Q 意見

池端清二氏) おんぶにだっこだけじゃなく、我々も積極的に参加していかなければと思う。

(Q 意見

針間道夫氏) 調整して各地区が一つにまとまるかはわからない。

(A 木下補佐) それぞれの団体で調整に向けてどんなことができるのかという話し合いをしていければいいと思う。

(Q 意見

山崎哲郎氏) そこから入っていかなければ進まないと思う。

4 モニタリング調査結果について (株)第一測量設計コンサルタント 井出氏)

・各調査項目について、具体的な調査結果を説明。(別紙 資料 3PP)

5 平成 28 年度活動計画(案)について (高橋技師) (別紙資料 4 (配布資料)、資料 5PP)

・来年度の活動計画(案)について別紙資料 4 (配布資料) で説明。

・建設事務所で行う取り組みと、推進会議で行う取り組みは分けるのではなく、連携しながら実施していく。

・6 月には当初予算での工事範囲がわかるので、メンバーの顔合わせを含めて第 7 回推進会議を行う。

・河川愛護活動は今年度の工事により左岸側がきれいになったため、先ほどの調整会議の中で、実施すべき場所を相談して実施したい。

・出水があれば出水後の様子を地域の方々とモニタリング調査を行いたい。

・現場研修会は適宜行う。

・年度末には第 8 回推進会議を開催し、翌年度へつなげていきたい。

(A 木下補佐

補足説明) 次回の推進会議日程について 6 月に行うという説明であったが、調整会議等つめなくてはいけないことがあるので、年度が変わり、皆様と調整していく中で、準備が整い次第行いたい。

モニタリング調査について、今年の調査結果はこうでしたという内容で説明させていただいたが、調べた結果がどうだったのかといことはまだ話をしていない。施設の状況でいくと、みお筋の状況が目的に適合しているのかというところでは、一定の効果はできていると認識はしている。ただ、中学校裏の石が欠損しているというところでは、推進会議の中で決めてきた構造に基づいてやったんだけど、遠山川の特性に対して問題があったということなので、今後改善をしていきたい。今回は 1 回目の点検、評価を行ったので、直さなければいけないことがあれば、それをどういう風に直していくのかということは今後検討していきたい。今年度は出水が少なかったが、遠山川はもう少し出水がある川なので、1 年だけの結果だけではわからない部分もある。そのため、そういった部分については、継続して観察していく必要がある。魚類の遡上調査でも、魚類が帯工を越えたという結果がでているので今回の帯工は魚類の遡上を妨げる構造物ではなかったという結果がでている。継続していかなくてもよいものは 1 つの結果として結論づけていくかもしれないが、引き続き継続していくものと、今回出た結果に基づいて、目標を外れない中でより良いものができるようにしていきたい。

(質問・意見・要望等)

(Q 意見

針間道夫氏) モニタリングの結果でカジカやウグイの生息状況はどうだったか?

いい川づくりの範囲は中学校付近～八重河内までか?

害を及ぼす鳥類(鶉、サギ)の生息状況はどうだったか?

植生について、オオキンケイギクの状況はどうか?駆除した方がよいか?

(A 井出 氏)

魚類について、カジカやウグイは全域にいた。個体数はカジカは多かったが、ウグイはカジカほどは多くなかった。鳥類について、魚を食べるような鶉やアオサギは現地調査の中では確認できなかった。千曲川等他の河川に比べればいても少ないと思う。オオキンケイギクは八重河内川合流部の左岸に小群落で発見した。繁殖力が強く、特定外来生物として駆除をする対象になっている。

〈A 鈴木課長〉 事業の実施効果を確認するために、モニタリング調査を行っているので、工事を実施した範囲が対象ではあるが、河川の環境等河川の管理については、飯田建設事務所を含めて行っている。

6 閉会 〈「遠山郷いい川づくり」推進会議 事務局長 柳瀬 勝弘〉